

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため
触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 古くなったランプを取外す

3 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に
行なってください。
落下によるけがの原因になります。

4 使用済みのランプは
必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■グローブの取外し方 △注意 グローブの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源を切る

2 ランプ・グローブを取外す

ランプを取外し、グローブを支えながらグローブ押
さえをゆるめて取外す。

3 グローブ・ランプを取付ける

グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押さ
えで締め付ける。
ランプを取付ける。

- 器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
 - 木・和紙の部分の汚れはハタキでホコリを払ってから乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
変質の原因になるので水拭きしないでください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤
を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ
<p>< 保証 について ></p> <p>1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。</p> <p>2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、蛍光灯安定器・H I D器具の安定器は3年間です。</p> <p>3. ランプ・グローブ・点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。</p> <p>4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。</p> <p>5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の 使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び 損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合</p> <p>6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。</p> <p>7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。</p>		<p>保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と 合わせて大切に保管してください。</p> <p><アフターサービスについて></p> <p>1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの 販売店・工事店までお申し出ください。</p> <p>2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談 ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理 させていただきます。</p> <p>3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は 弊社サービスセンターにご連絡ください。</p> <p>4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有して います。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。</p> <p>※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びに ご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載の コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。</p> <p>※This warranty is valid only in Japan.</p>
保証期間(お引き渡し日より)		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体: 1年間 安定器: 3年間		
お 客 様	お名前	
	ご住所	
電話 ()		

KOIZUMI コイズミ照明器具 施工取扱説明書

型 番 BAN8507FR

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

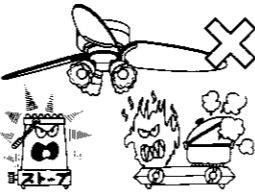
工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に 行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下 によるけがの原因になります。		扇風機運転中は羽根に触れないでください。 →落下や破損によるけがの原因になります。
⚡ 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁 などには取付けできません。 不安定な場所や石膏ボード、ベニヤ板などの強 度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けない でください。 →器具の落下によるけがの原因になります。	⚡ 禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用し ないでください。 →火災の原因になります。
🔧 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用 しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		下図のような場所や配線器具の場合、取付けで きません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換 には資格が必要です。工事店・電器店に依頼し てください。
⚡ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込 まないでください。 →感電・故障の原因になります。		
⚡ 禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のもの をご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、 樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの 原因になります。		 ケースウェイはめ込み配線器具 ●破損している ●電源端子露出形
⚠ 厳守		⚠ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切っ てください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因に なります。工事店・電器店にご相談ください。

<div>⚠ 注 意</div> <div>この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。</div>			
<div>🚫</div> <div>接触禁止</div>	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	<div>🚫</div> <div>禁止</div>	器具の下にストーブなどの 高温のものを置かない でください。また、燃え やすいものを近づけて使 用しないでください。 →火災の原因になります。 
<div>🚫</div> <div>水ぬれ禁止</div>	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		
<div>🚫</div> <div>禁止</div>	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	<div>🚫</div> <div>厳守</div>	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。
	アームなどの可動部のすきまに指を入れないで ください。 →けがの原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	風を長時間、体にあてないでください。 →健康を害することがあります。		

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力		重量	使用ランプ
			扇風機(強)	照明		
BAN8507FR	AC100V	50/60Hz共用	50Hz	60Hz	8.3kg	EFA 15形(E26)×5
			20W	25W		

※リモコン送信機で消灯・回転停止した場合、約1Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■扇風機仕様(回転方向:下向き)

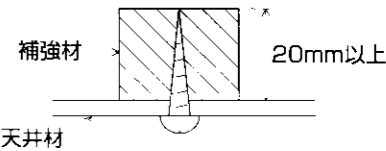
電圧(V)	周波数(Hz)	回転数(rpm)		風速(m/min)	風量(m³/min)	消費電力(W)
		強	中			
AC100V	50	119	87	86	46	20
		54	39	61	33	12
		弱	22	39	22	6
	60	140	94	107	61	25
		67	36	67	36	13
		弱	56	41	22	6

※電圧特性、羽根の重量および室温の変化により回転数は±15%の範囲で、誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。(回転数は室温25度にて測定)
※風速、風量は、器具最下面での測定値です。

■取付前の確認 ⚠ 警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 器具重量に耐えられるよう取付部の強度を確保する

取付ネジを補強材に20mm以上ねじ込めるようにする。



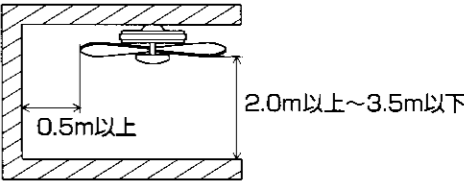
2 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている
配線器具が確実に固定されているか
確認する。



3 設置場所を確認する

- 羽根が回転するとき、人・家具・壁その他インテリアに
当たらないように取付ける。
- 雨や水しぶきのかかる場所、直射日光の当たる場所
には取付けない。
- ホコリの多い場所、酸・アルカリ・油を使う場所には取
付けない。



4 取付面がクロス貼りの場合

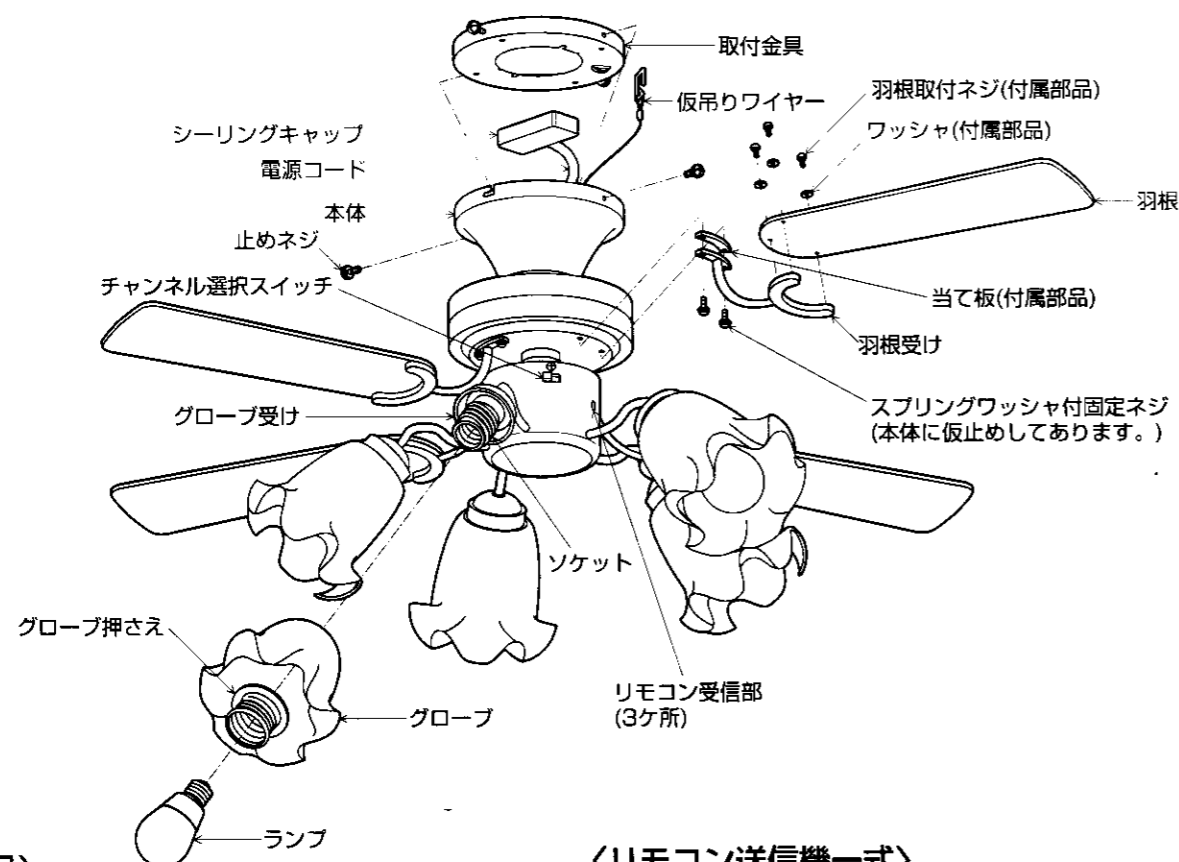
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

5 必ず同梱の部品を使用する

羽根は同じ重量のものをセットしていますが、羽根・灯具
のバランスなどにより本体が多少揺れることがあります。

■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

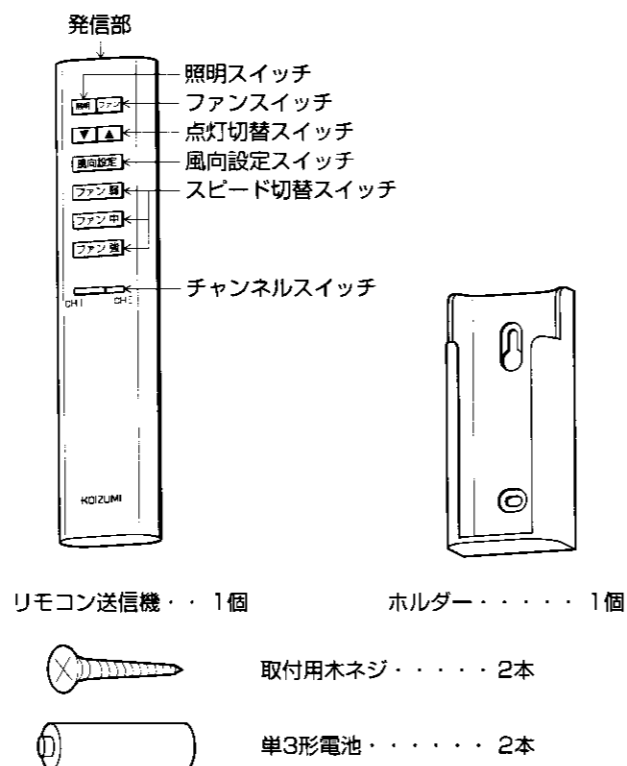
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

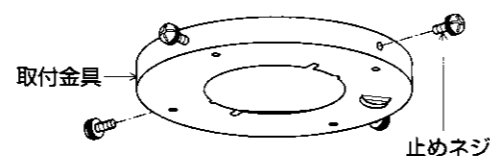
- 取付ネジ・・・・・・ 4本
- 取付ネジ(平ワッシャ・スプリングワッシャ付) 2本
- 羽根取付ネジ・・・・・・ 12本(予備1本)
- ワッシャ・・・・・・ 12枚(予備1枚)
- 当て板・・・・・・ 4枚
- スプリングワッシャ付固定ネジ(予備)・・・・ 1本

〈リモコン送信機一式〉



1 取付金具を取付ける

取付金具の止めネジをゆるめる。うち2ヶ所の止めネジを取外す。



＜ローゼットの場合＞

取付金具をローゼットに合わせ、取付ネジで取付ける。



※埋込ローゼットの場合も同様に取付けてください。

＜シーリングの場合＞

取付金具をシーリングに合わせ、取付ネジで取付ける。



※角形・丸形シーリングボディの場合も同様に取付けてください。

2 羽根を取付ける(床面で作業の方が楽にできます。)

羽根と羽根受けを付属の羽根取付ネジ3本とワッシャ3枚で確実に取付ける。

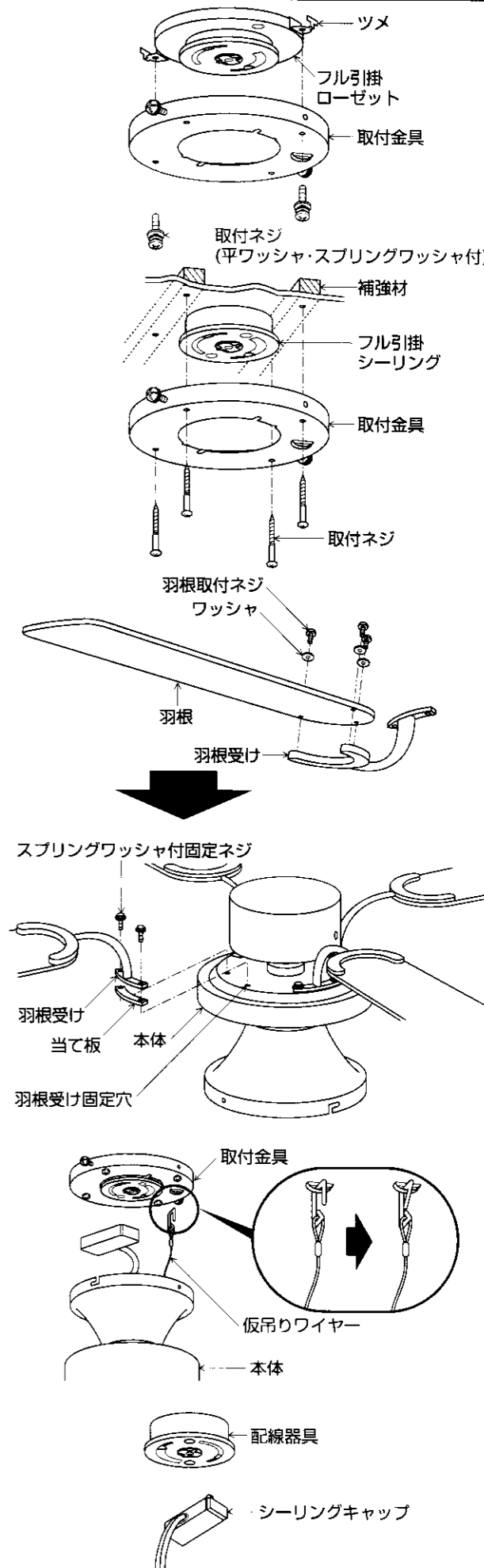
※羽根は表裏どちらでも取付けできます。

本体に仮止めしてあるスプリングワッシャ付固定ネジをはずし、当て板を本体の羽根受け固定穴に合わせて貼り付け、羽根受けをスプリングワッシャ付固定ネジ2本で1枚ずつ確実に固定する。

※取付けは確実に行ってください。締め付けが不十分な場合は、ガタツキまたは、事故の原因になります。

3 仮吊りワイヤーを取付ける

仮吊りワイヤーを取付金具に引っ掛けて閉じる。

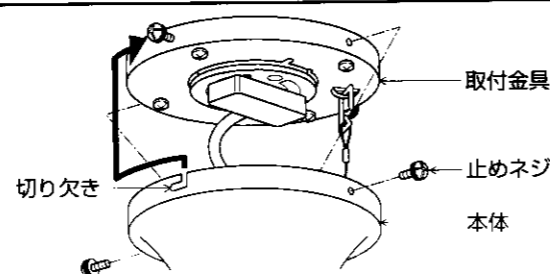


4 シーリングキャップを接続する

5 本体を取付ける

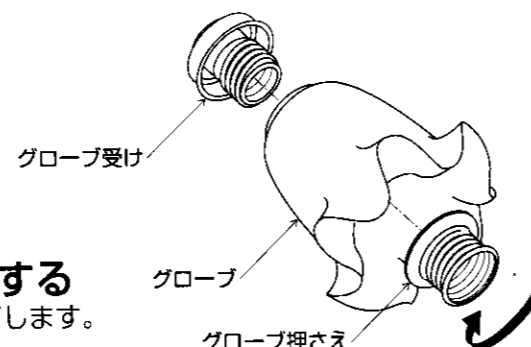
本体の切り欠きを止めネジに合わせてはめ込み、右に止まるまで回してから止めネジを締め付ける。
■取付手順1で取外した止めネジで本体を確実に固定する。

※取付けは確実に行ってください。締め付けが不十分な場合は落下・ガタツキの原因になります。



6 グローブを取付ける

グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押さえで締め付ける。



7 ランプを取付ける

8 壁スイッチをONにし、リモコンを操作する

壁スイッチをONにすると照明は全灯し、OFFにすると消灯します。

※壁スイッチでファンの操作はできません。

9 取付け・点灯および羽根の回転の確認を行なう

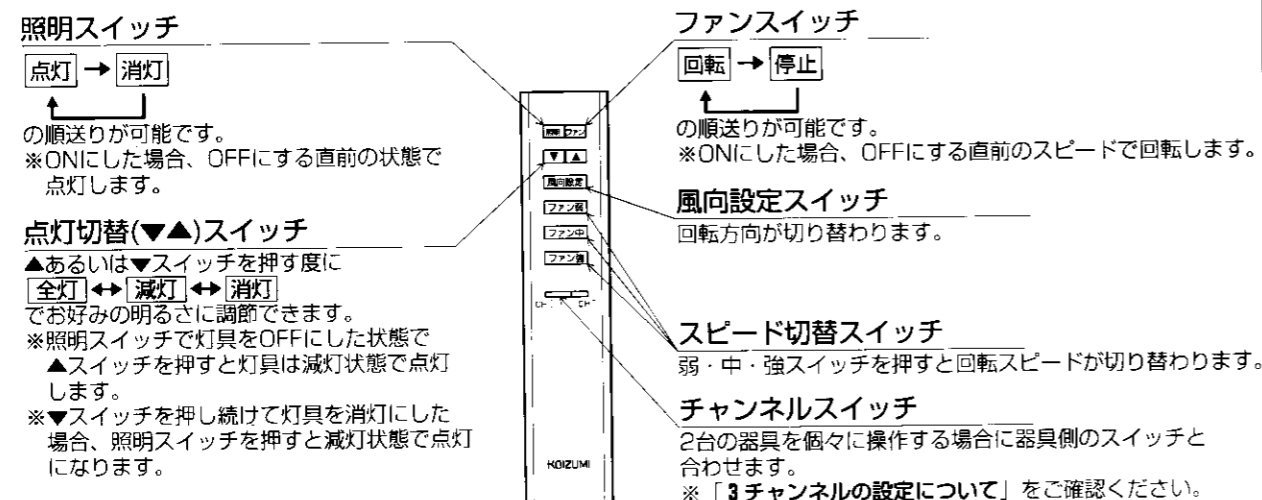
- ① 取付金具の取付けにガタツキがないか？→**■取付手順1**の取付ネジを十分締め付けているか
- ② 羽根のブレがないか？→**■取付手順2**の羽根取付ネジを十分締め付けているか
- ③ ガタツキ音がないか？→**■取付手順1、2、5**の各ネジは十分締め付けているか

■リモコンで操作する

1 リモコン送信機の操作について

※あらかじめ壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

リモコン送信機は必ずリモコン受信部に向けて操作してください。
 また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。



※スイッチの切り替えは、一度スイッチを押してから2秒以上間隔をあけて行ってください。

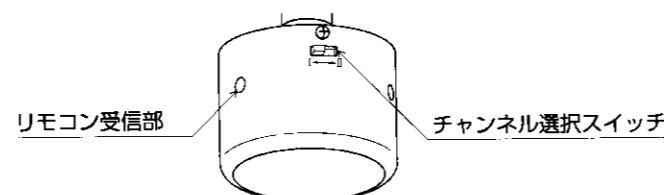
2 リモコン受信部について

<リモコン受信部>

リモコン送信機からの信号を受けます。
 (傷つけたり、汚したりしないでください。)

<チャンネル選択スイッチ>

出荷時はⅠに設定されています。



3 チャンネルの設定について

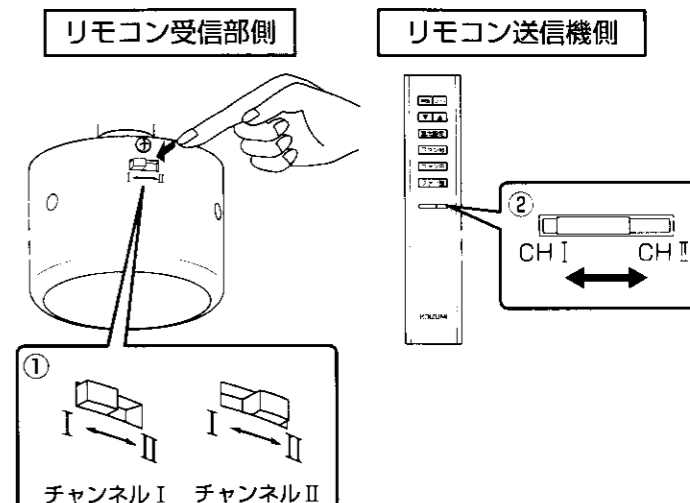
<1台の器具のみ操作する場合>

リモコン送信機のチャンネルスイッチをⅠにしてください。

<2台の器具を操作する場合>

一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルをⅠにし、他方をⅡにしてください。
 リモコン送信機側のチャンネルスイッチを操作した器具のチャンネルに合わせてください。

※当社リモコンシーリングライトを近くに取り付けた場合も、リモコンのチャンネルを分けておく必要があります。



■回転方向の切り替えについて

リモコン送信機の風向設定スイッチで上向き、下向きの風が選択できます。「下」にすると直接風が当たり、涼しさが増します(春夏秋)。また、「上」にすると、部屋全体にゆっくりとした風を送り、部屋の空気をかくはんします(冬)。

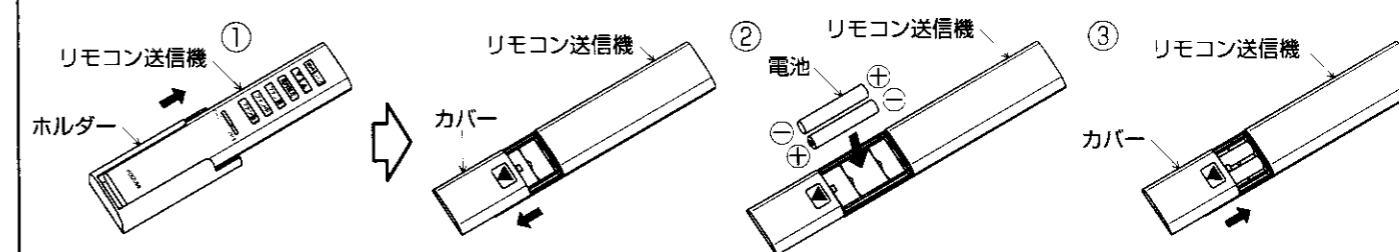


■リモコン送信機について

1 リモコン送信機をホルダーから取出す

- ① リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
- ② 電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③ カバーを取付ける。

お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

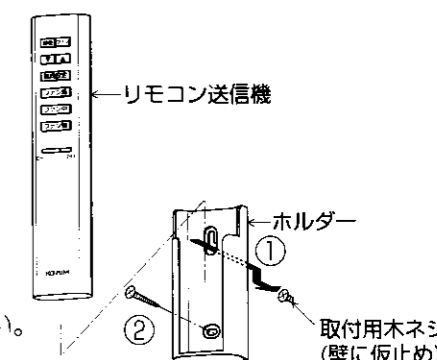


2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

- ① 必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ② 2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

※その際、強く締め込まないようにする。
 ホルダーが破損するおそれがあります。

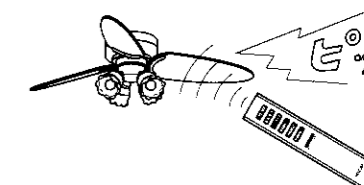
※操作する場合はホルダーから取り出し、器具に向けて行ってください。



3 リモコン送信機を操作

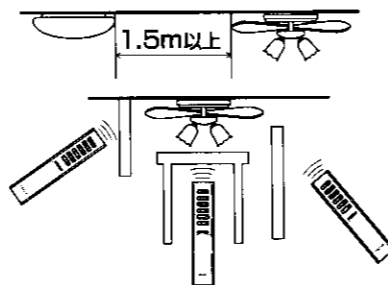
すると確認音が本体よりします。

※スイッチを操作すると、「ビッ」と1回確認音がします。確認音がしなければ、スイッチ操作は無効です。2秒以上間隔をあけて行ってください。



4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、他社のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。
※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- スイッチを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
リモコン送信機で消灯・回転停止した場合、器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。
壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高くなるもの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。
器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- 蛍光灯照明器具が取付けられた場所では、その器具から1.5m以上離して取付けてください。
誤動作の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。
しゃへい物をさけて再度スイッチを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■修理を依頼される前に

- 動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現 象	考えられる原因	処 置
リモコン送信機を操作しても動作しない	リモコン送信機の電池が切れている	電池を交換する
	リモコン受信部に信号が届いていない("ピッ"と確認音がしない)	リモコン受信部が見える位置から操作する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	リモコン送信機を連続操作した	2秒以上間隔をあけて操作する
	室温が低い場合、数分間リモコン信号を受信しにくい場合があります	器具温度が上がってから操作する
壁スイッチをONにしてもランプが点灯しない	ランプが切れている	ランプを交換する
「風向設定」スイッチを押しても変わらない(止まってしまう)	回転しているときにスイッチ操作をした場合、一度回転が止まってから逆方向に回転はじめる	しばらく様子を見る
壁スイッチをONにしてもファンが回らない	リモコンの設定が停止状態になっている	「ファン」スイッチを押してから回転方向・スピードを操作する

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

■長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

天井扇

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】 15年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
※当該期間は扇風機機能について設定したものです。

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保障するものでもありません。

■標準的な使用条件 日本電機工業会自主基準HD-116-3による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	単相100V又は単相200V	機器の定格電圧による
		周波数	
	温度	50Hz/60Hz	JIS C9601 参照
		30℃	
	湿度	65%	
負荷条件	設置条件	標準設置	施工取扱説明書による
		定格負荷(風速)	施工取扱説明書による
想定時間等	天井扇	1日あたりの使用時間	10(h/日)
		1日使用回数	5(回/日)
		1年間の使用日数	180(日/年)
		スイッチ操作回数	900(回/年)
		首振運転の割合	対象外

- 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

※上記の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。
受信部の見える位置からリモコンを操作してください。
- 羽根が回転することにより、横揺れが起きる場合がありますが故障ではありません。

■電球形蛍光灯使用上のご注意

- 点滅を頻繁に繰り返す場所ではランプ寿命が短くなりますので不向きです。
- 点灯直後は暗く約30秒で明るくなります。
- 点灯直後約20分間は明るさや光色が若干変化します。